



おおゆストーン新聞

秋のお彼岸



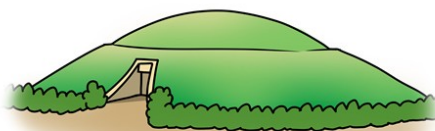
暑さも少しずつ和らいできましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。さて、9月といえばお彼岸です。「彼岸(ひがん)」は仏教で悟りの世界を意味し、私たちが生きる「此岸(しがん)」の対義語です。春分・秋分の頃は太陽が真西に沈むため、西方にあるとされた極楽浄土に想いを寄せる特別な日と考えられました。またお彼岸に食べる「ぼたもち」と「おはぎ」の呼び名の違いは地域や時代によっていろいろな説がありますが、春は牡丹の花にちなみ「ぼたもち」、秋は萩の花にちなみ「おはぎ」と呼ばれる説が有名です。季節の移ろいを感じさ

せる日本らしい考え方ですね。ご先祖様を想うお彼岸。その食卓に並ぶぼたもちやおはぎにも、季節をいつくしむ日本人の心が込められているように感じます。

季節の変わり目は体調を崩しやすいのでご自愛くださいね。

知っていますか? 9月の記念日

●9月25日は「藤ノ木古墳記念日」です。奈良県生駒郡斑鳩町の「藤ノ木古墳」の石室などが、1985年(昭和60年)のこの日に発掘されました。藤ノ木古墳は、直径約50m・高さ約9mの円墳で、古墳時代後期の6世紀後半に作られたものと考えられています。未盗掘の古墳で、発掘が始まった3年後には約1500年ぶりに石棺の蓋が開かれ、当時の埋葬儀礼を解明する上での貴重な資料となりました。



■発行者: おおゆ石材

大正12年以来、津軽の皆さまとご一緒に歩んでまいりました。石やお墓のある、豊かな暮らしを、お手伝いしてまいります。



よこやま



みかみ



いしおか

弘前バイパス店 弘前市石川春仕内103-1
浪岡ステーション 青森市浪岡 浪岡細田1-2
ストーンマルシェ 平川市岩館山の井127-3
☎ 0120-63-1483 (有)大湯石材店



～お墓・仏事のミニ知識～



★世界に誇る日本のお寺「清水寺」

京都屈指の観光スポットである清水寺。中でも
 壮観な「清水の舞台」は高さは約13メートルで、
 およそビル4階建ての高さに相当します。伝統技法
 「懸造」(かけづくり)で作られたこの舞台は、接合部分
 に釘を1本も使わず、柱と貫の接合部分の内部も



「継ぎ手」と呼ばれる技法で組み合わせています。秘仏である本尊 十一面千手
 観音は33年ごとに開帳されており、ご開帳の際は一目拝もうと、多くの人々
 が訪れます。古くから信仰の対象としてだけでなく伝統芸能や文学にも数多
 く登場し、1994年には「古都京都の文化財」のひとつとして世界文化遺産に
 登録されました。日本を代表する寺院のひとつです。

仏事クイズ Q&A

知っているようで知らない仏事のことや
 言葉の意味をクイズで確かめてみましょう。

Q

この季節になると、お墓の周りに
 咲いているのをよく見かける「彼岸花」。
 一説によると、ある理由でお墓の周り
 に植えられたとされています。
 それは次のうちどれでしょう？

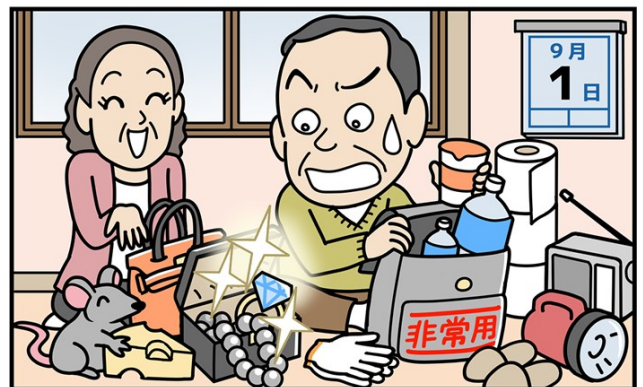
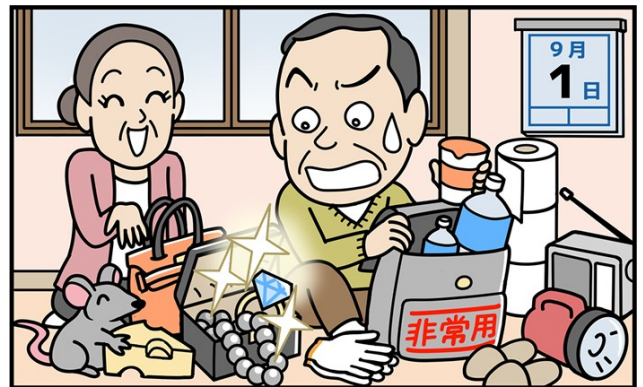
- ① 動物が近づかないようにするため
- ② 花が長持ちするから
- ③ 魂を導く花とされたため

ヒント

彼岸花の球根には
 毒があります。



まちがいさがし



上下の絵に間違いが3個あります。探してみましょう。

※クイズとまちがいさがしの正解は、表面の一番下の部分をご覧ください。

ご縁を大切にしたいとの想いで、発行しています。